



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



通知表 あゆみの見方について ①

前期の終業式まで残り一週間となりました。終業式の日には、通知表「あゆみ」をお渡しします。「あゆみ」では、一人一人のよさや可能性を伸ばし、確かな学力をつけていくため観点別の評価を重視するとともに、成長や努力を認め励ます視点で、学校生活や学習の様子等を連絡しています。

本年度、新しい『学習指導要領』が全面実施されるのに伴い、学習評価の在り方が見直されるようになったことは、6月25日に配布したプリントにてお知らせしている通りです。その結果、学習評価をお知らせする「あゆみ」も改訂されていますので、くわしい見方や活用の仕方についてお知らせいたします。本年度は個人懇談会が学期末に行われないため、「あゆみ」の内容等でお尋ねがあれば、担任等にお問い合わせください。

「〇期の生活の様子」

10の項目について、他の子どもとの比較ではなく、その子自身の中で特に「よい」ところとして認められる内容に〇を付けています。〇は、どの子にも1～3個程度付いています。その項目は、今期よさとして目立った内容です。今後、より一層伸ばしていけるよう励ましてください。各評価項目及び趣旨の内容は、別紙にてお知らせします。



「〇期の連絡」

昨年度までの「あゆみ」では「生活や特別活動の連絡」「学習の連絡」に分かれていた連絡欄が、本年度から一つになっています。ですから、学級での話し合い活動や係・当番活動、クラブ活動や代表委員会（4～6年）、委員会活動（5，6年）、学校行事での様子や、給食時間や清掃時間、休み時間等での様子、友達とのかかわりなどについてお知らせするとともに、各教科（5，6年は外国語科も含む）や道徳について、よくがんばったことやさらに努力してほしいことを記述しています。総合的な学習の時間（3～6年）や外国語活動（3，4年）についても、この欄で記述します。内容が学校生活全般にわたるので、その学期で特によくがんばったことや努力してほしいことなどを精選し、端的に記述しています。連絡欄に記述されている課題については、次の学期のめあてにし、改善していけるようにご家庭でも話し合ってくださいと思います。

「〇期の各教科における観点別の学習の様子」



各教科の内容の定着の様子が分かるよう、観点別の目標に準拠した評価を行っています。以前お知らせしたように、本年度から評価の観点が、4観点から3観点になっています。各教科等の目標や内容が「資質・能力」として再整理されたからです。



これも、他の子どもとの比較ではなく、各教科の学習ごとに設けられている評価の観点に照らして、その子の学習状況を評価するものです。例えば、5年社会科で「我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解しているとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめている」（知識・技能）ことが、今期おおむね達成できていれば「よい」です。達成できていなければ「がんばろう」です。したがって、「よい」をめざして学習に励むことが大切であり、「がんばろう」の内容は次の学期に達成を目指してほしいと思います。各学年における各教科等の評価の観点とその趣旨の内容は、別紙にてお知らせします。

なお、「たいへんよい」は、目標を達成したか判断する規準を大きく超えているものです。わかりやすく例えるなら、「走り高跳び（陸上運動）で1メートルを跳べること」を規準とすると、どんな跳び方でもいいから1メートル跳べたら「よい」です。バーにふれてもギリギリでも構いません。しかし、その中で、1メートルをはるかに超える高さをきれいなフォームでスムーズに跳べた場合など、特別に優れた内容が非常に多く認められれば、それが「たいへんよい」となります。ですから、「たいへんよい」は少ないとお考えください。